

# 第32回 学術集会のご案内 in 青森

2023年6月8日(木)～10日(土)

「国際標準のがん登録を目指して」



## 第32回学術集会大会長

Hiroshi Saito  
齋藤博

青森県立中央病院

2023年6月8日(木)～10日(土)の3日間、日本がん登録協議会第32回学術集会を青森県青森市で開催します。がん登録等の推進に関する法律が施行されて5年が経過し、個人情報保護法の改正やがん診療連携拠点病院からの届出方法の変更など、全国がん登録や院内がん登録の環境が大きく変化しています。そのような中で4年ぶりの実地開催を計画している第32回学術集会は、改めて参加者の皆さんにがん登録に関する有益な情報交換の場を提供できる機会になるものと確信しています。

今回の学術集会のテーマは「国際標準のがん登録を目指して」です。

その理由の一つは2021年から2022年にかけて国際がん研究機関(IARC)が『5大陸のがん罹患(CI5, Cancer Incidence on the Five Continents)』に掲載するデータを募集しており、日本のがん登録としては全国がん登録の開始後で初めての参加となったことです。なお、そこまでの過程は決して平坦なものではなく、個人情報の保護などについて厳しく審査された上で、最終的にデータの国際共同利用という位置づけで全国がん登録データを利用することが承認されるに至りました。また、欧州などではがん登録データをがん検診の精度管理に利用しています。

こうした海外でのがん検診精度管理の実施体制が日本でも目指されていましたが、平成28年度の青森県事業を皮切りにいくつかの都府県での取り組みが始まっており、今後、全国で体制を構築することが求められています。このように、日本のがん登録は国際標準を見据えて展開すべき段階にきていると考え、今回のテーマとしました。

プログラムは、8日午後のがん登録実務者研修会から始まり、2つのシンポジウムと2つの口演セッションを予定しています。また、広いポスター会場を確保しており、研究発表だけでなく、登録室の取り組みを報告する発表カテゴリーも準備します。これまで学術集会での発表経験がない方でも、この機会にご自身の登録室の活動をご報告ください。

6月初旬の青森市は穏やかな天候で、学術集会の開催中は心地よく過ごしていただけたらと思います。会場から少し足を延ばすと、酸ヶ湯温泉や弘前城、竜飛岬などの全国的にも有名な観光地が目白押しです。また、青森県の豊かな自然の恵みである鮮魚や果物なども存分に味わうことができます。ぜひ、第32回学術集会に奮ってご参加ください。